

わ

が

街

わ

が

故

郷

“自然環境と精密工業の集約地 まつかわ”
NSKマイクロプレジジョン株式会社・松川工場

弊社の概略

所在地 長野県下伊那郡松川町元大島2953
設立年月日 昭和48年1月23日
資本金 3000万円
生産額 48億円
従業員数 210人
敷地 5000坪

1. はじめに

長野県下伊那郡松川町は古くから三州・伊那街道の伝馬宿として、南信州北部の交通の要衝、商業農業の交易の地域拠点として栄えてきた。

この地に生産拠点を構える弊社は“ミニチュアボールベアリングの技術を活かして、高精度、高品質な製品を追求し地球環境に優しく貢献できる企業を目指す”という企業理念を携えて今日に至っている。

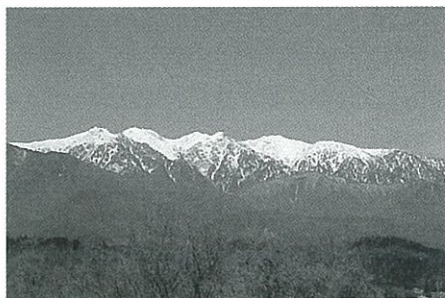


工場正門

2. 創業の経緯

NSKマイクロプレジジョン(株)は昭和48年1月、松川町に神奈川県石井鋼球(株)（現NSKマイクロプレジジョン(株)）の子会社として設立された。

設立当初から、現地法人として地元との共生を大切にしてきた。「なるべく早く親会社の支援から独立し、地元社員が中心となって営む工場にしたい」との創業者の思いがあり、独立会社として設立、非常勤の役員を除き、地元出身の役員を含め全社員が飯田、上下伊那地域人で構成されている。



工場から中央アルプス連山を望む

3. 弊社の沿革

新会社は、町が誘致した工場団地の一角に3000坪の用地を確保して、昭和48年8月に操業を開始したが、当時、周り是一片桑畑であった。（その後急速に宅地化が進んでいる）

翌年には旋削工場も建設され、さらに昭和51年1月には組立工場が建設された。当時としては効率と綺麗さを誇る最新式の工場であった。昭和59年3月に第二工場の建設となった。

平成に入り「軽薄短小」の時代到来とともに、弊社はパソコン用ファンモータ軸受を主体とした「量産一貫工場」を展開してきた。平成8年にはISOの品質規格、平成16年は環境規格の認証を取得している。また経済のグローバル化に伴い親会社マレーシアへ工場を設立したことを受けて、海外工場のマザー工場として、技術指導と研修生の受入を積極的に行っている。

4. 松川町の地形的特長

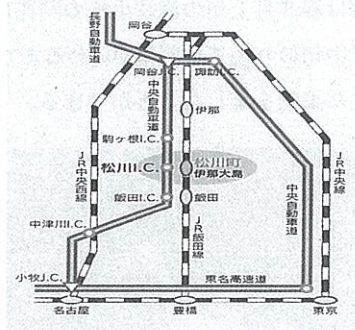
長野県の南部伊那谷に位置する松川町は赤石岳を主峰とする南アルプスと木曾駒ヶ岳を主峰とする中央アルプスに抱かれている。町の中央に天竜川が流れ、両側は長い時間の中で形成された河岸段丘が地形的特徴を形作っている。

5. 町名の由来

松川町は旧大島村、上片桐村が昭和31年に合併し町制を敷き、昭和34年には生田村を編入して発展してきた。町名の由来は中央アルプスから流れる天竜川の支流「片桐松川」にちなみ、大自然に恵まれたこの地の雰囲気余すことなく醸し出している。人口は現在14,100人余。

6. 交通の便

当地へは、中央自動車道、国道153号線、JR飯田線でのアクセスが可能である。特に中央自動車道においては松川インターチェンジが設けられており、東京方面へ3時間半、名古屋方面には2時間で行き来できる。この自動車道は工業・商業・農業などの各産業にとって重要な動脈となっている。



7. 地域経済を支える工業

松川町には名子工場団地、生田工業団地、松川インター工業団地などが造成されている。

名子工場団地は弊社が進出した団地であり精密機械、電子部品製造の企業14社が操業している。

松川町の工場数は平成18年度で100社、従業員数は2000人余と町の経済を支える大きな柱となっている。出荷額は300億円。

これらの内陸型工業地の発展の背景には交通環境の整備と充実、上下伊那に及ぶ豊富で勤勉な労働力の存在が挙げられる。

8. 太陽と大地の恵みを受けた果樹栽培

松川町の自然は良好な日当たり、水はけの良い扇状地、昼夜の大きな寒暖の差という果樹栽培に最も適した環境に恵まれている。なし・りんご・桃などに加え、最近では洋なし・さくらんぼ・ブルーベリー・プルーンなど新しい果物の栽培も盛んである。



松川町は春3月上旬の竜峡小梅の開花に始まり、11月中旬のりんごの収穫が終わるまでの間、さまざまな果物を楽しむことができる。



りんごのもぎ取り風景

9. 松川町の観光スポット

清流苑…信州まつかわ温泉、露天風呂完備の宿泊施設。入浴のみの利用も可能。

生田 梅松苑…農業体験など都市との交流の拠点。マツタケ観光。

瑞応寺…鎌倉時代以降、片桐氏が創建した寺院。大きな本堂が有名。

円満坊…阿弥陀如来坐像。長野県宝。平安時代藤原期の作。

台城公園…平安時代、鎌倉時代の伊那谷の有力武士の本拠地の一つツツジ公園

片桐宿…伊那街道の宿場町。中馬の面影が今も残る。

10. 南信州の観光

松川町の周辺、南信州一帯は人口10万人の飯田市を中心に歴史旧跡、観光地が数多く存在する。弊社から1時間内で行くことができる主な名所。

元善光寺…長野市の善光寺の阿弥陀如来像が一時期安置されていた。ここに御参りしないと片参りといわれる。



一光三尊の木彫が祭られる元善光寺

昼神温泉…古代の歴史が香る温泉郷。アルカリ性単純硫黄泉。

飯田城と赤門…飯田城址。堀公の居城跡。現在下伊那地方事務所で一部残っている。

猿庫の水…名水百選。茶の湯に適する。10月半ばまで土日野点あり。水汲み人多い。

天竜峡…観光地として有名な渓谷。国指定名勝地。天竜峡温泉あり。



奇岩奇石がそそり立つ天竜峡

また新しい地域開発事業として浜松・豊橋・飯田を結ぶ三遠南信自動車道の開通、南アルプス貫通するリニア中央新幹線の建設が計画されており、一層の経済活性化が期待されている。

(管理課 清田 延彦)